

令和5年度 志教育全体計画

様式1

宮城県大河原商業高等学校
定時制課程

校 是
文質彬彬

本校の教育目標
生徒一人ひとりが心豊かな人間となり、社会の変化に対応して自ら学び、たくましく生きていける人間になれるよう、次の点に留意しつつ指導に励む。 1 一人個人としては、徳・体・知が円満に発達した調和のとれた人間。 2 国家及び社会の有為な形成者としては、人格を尊重し合い、責任と規律を重んじ、旺盛な勤労意欲を持ち、職業人としての専門的な技術を身に付け、社会公共福祉のために貢献し得る人間。

生徒の実態、教師の願い
働きながら学ぶ生徒が多い。基本的な生活習慣を確立させ、基礎学力と社会性を身につけさせたい。

保護者や地域の願い
自立した大人になるため、困難を乗り越える強さを身につけさせたい。

「志教育」の目標
1 基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、社会規範を守る精神及び社会性を育成する。 2 主体的に学ぶ姿勢を育成し、基礎・基本を確実に身につけさせると同時に自らの進むべき進路について考えさせ、生徒の進路意識の高揚を図る。 3 様々な課題を抱えながらも「学ぶことの大切さ」「学ぶことの新鮮さ」を体感している生徒一人ひとりに「困難に負けず、自己の道を切り拓く強い心」と「自他共に個々の生き方を尊重できる心」を育成する。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
学校内外の様々な人との関わりを通して、コミュニケーション能力を身につけさせる。	進路ガイダンスや就業経験などを通して自分の適性を知り、理想とする将来の生き方について考えさせる。	学校や家庭、就業先で求められる役割を果たすことで、社会に貢献できる人間を育成する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	「わかる授業」を工夫して基礎学力の向上を図る。 ①学習意欲の喚起と学ぶ目標の明確化 ②わかりやすい授業の展開 ③理解が不十分な生徒には、適切な補充授業を長期休業中に実施
道徳	各授業や生徒指導・進路指導、LHRなどで折に触れ道徳的見地から指導を行い、社会生活の中での礼儀作法を身につけさせ、また相手を思いやる心を育成する。
総合的な探究の時間	自己の生き方について課題を設定し、主体的に課題解決へ向けた方策を考え、自己実現を図ろうとする態度を養う。 自らの進路目標を実現するため、必要な情報を獲得し技能を修得することにより、進路を切り開き社会に貢献できる人間を育てる。
特別活動	集団活動を通して生徒相互や教員との人間関係を築き望ましい生き方を考える。 ＜学級活動＞活動を通して望ましい人間関係を育てる。 ＜生徒会活動＞活動を通して学校生活作りへの自主的・実践的態度を養う。 ＜学校行事＞行事への参加を通して公共心を養う。
その他	社会性を身につけることで、挨拶やその場に合った正しいコミュニケーションの取り方について実践させる。

各学年の取組内容	
1年	基本的生活習慣を育成し、自己理解を高めるのと同時に相手を思いやる心を育て、新しい集団になじむようにする。アルバイトを奨励し、職業観を育てる。
2年	学校・就業先における人間関係の齟齬を乗り越え互いに敬意を払えるようになる。また高校生と社会人の違いを学ぶことによって、社会人としての自覚を持ち互いに切磋琢磨する意識を持つ。
3年	社会や社会が求める人間像を考えさせ、社会性を身につけるための基本的生活習慣を確立し、自らを省みてより良い人間関係を保とうとする態度を育成する。
4年	あらゆる機会を活用して、社会人として必要な心構えを身につけさせる。

家庭との連携
学校評価や授業公開などの機会を活用して、情報交換を図る。また、機会を見つけて三者面談を実施し、必要な進路情報を提供していくと同時にアルバイトの紹介も実施する。

地域・企業との協働
地域でのボランティア活動やインターンシップでの就業体験、外部講師講演会での講話や面接指導で連携を深めていく。